

TAC 年金アドバイザー

○「年金アドバイザー」とは？

「年金アドバイザー」とは、銀行業務検定協会が検定を行う民間資格です。

「年金に関する相談に対して、助言・指導をする」能力に関して、2級、3級及び4級と格付けされています。1級は存在せず、2級が最高位です。

○2級と3級、何が違う？

出題形式

3級（150分）2時間半

基本知識 択一式 30問（各2点）「×を選べ」の比率が高い。

技能・応用（事例付）択一式 10事例 20問（各2点）

60点以上（試験委員会にて最終決定）で合格

2級（180分）

社会保険制度の概要・沿革／公的年金制度の仕組み／年金給付と支給要件・年金額計算／企業年金・個人年金の仕組み／雇用・医療・介護保険制度／年金・退職一時金の税金／年金相談とその対応の仕方 その他 より

記述式 10題（各10点）

60点以上（試験委員会にて最終決定）で合格

合格率

3級		2級	
平成26年3月	35.70%（平均）	平成26年3月	26.48%（平均）
平成25年10月	34.32%（平均）	—	—
平成25年3月	28.80%（平均）	平成25年3月	22.43%（平均）
平成24年10月	41.86%（平均）	—	—
平成24年3月	22.93%（平均）	平成24年3月	22.54%（平均）
平成23年10月	43.33%（平均）	—	—
平成23年3月	40.69%（平均）	平成23年3月	20.56%（平均）

2級（2014年3月試験）

応募者数 3,140名（内受験者数 2,379名） 合格者数 630名（合格率 26.48%）

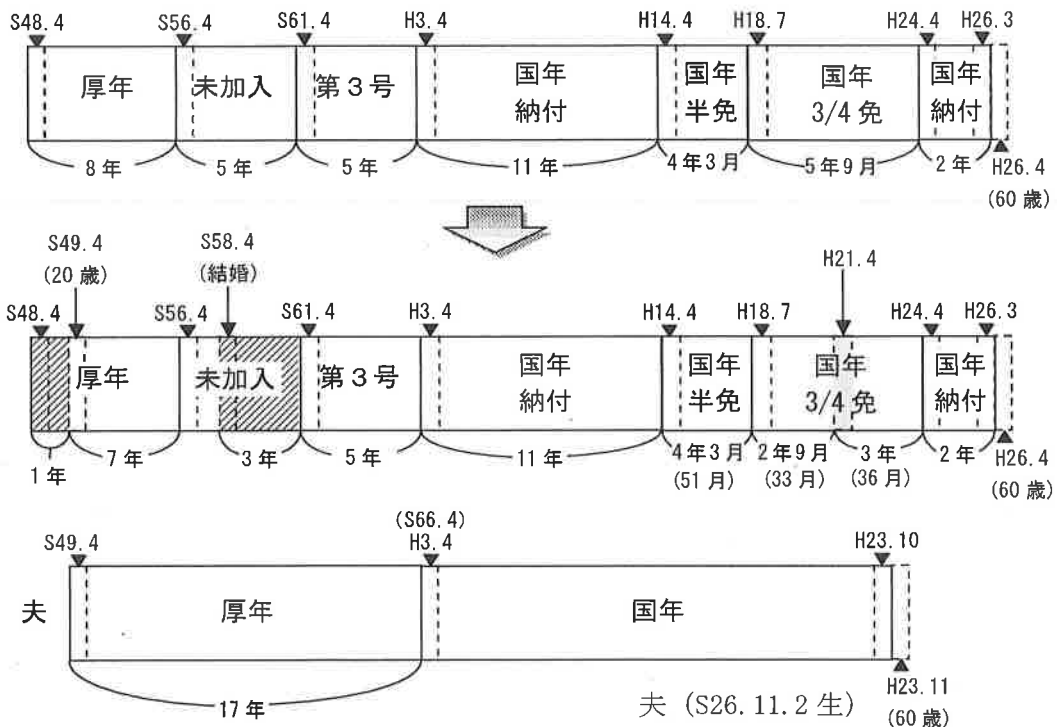
平均点：45.85点 最高得点 95点

特徴

平均点が2点台の問題は〔問題－9〕ねんきん定期便の1題のみ。

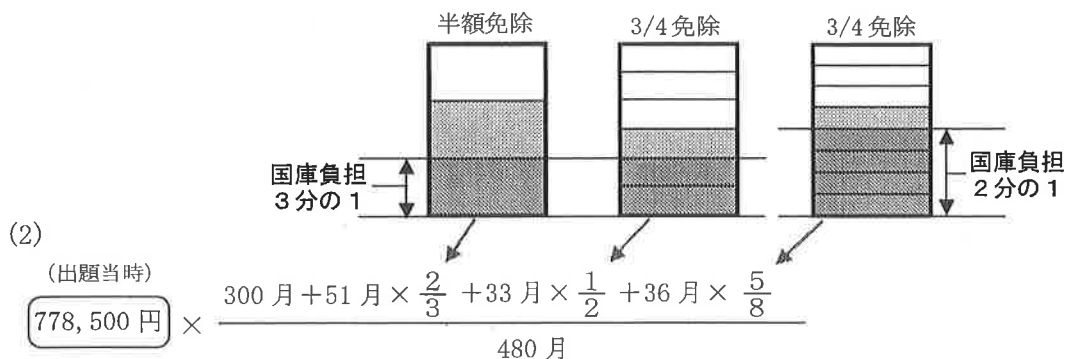
2014 年 3 月 [問題-2]

A 子さん (S29. 4. 20 生、S58. 4 結婚)



(1)

A 子さんの ①納付済：(300) 月 ②免除：(120) 月 ③合算対象：(48) 月



≒ 604,959 円

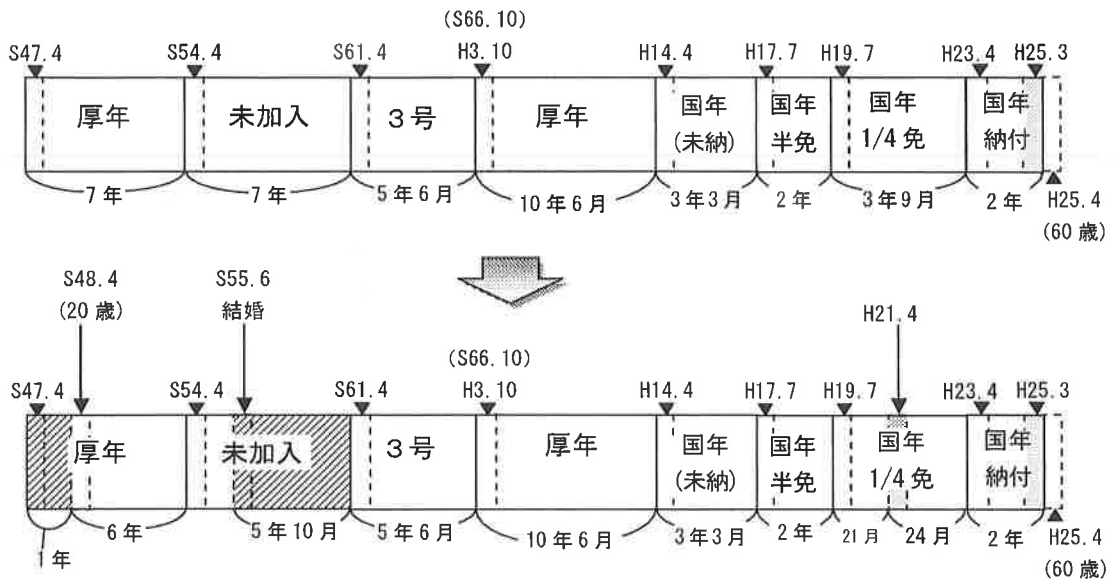
≒ 605,000 円

振替加算は？
S26. 11. 2 生の夫に厚年の期間が 20 年あれば加算
しかし 17 年しかないので振替加算は行わない

2013 年 3 月 [問題-2]

A 子さん (S28. 4. 5 生・S55. 6 結婚)

夫 (S22. 10. 20 生) は S45. 4～H14. 3 まで厚年、その後自営業

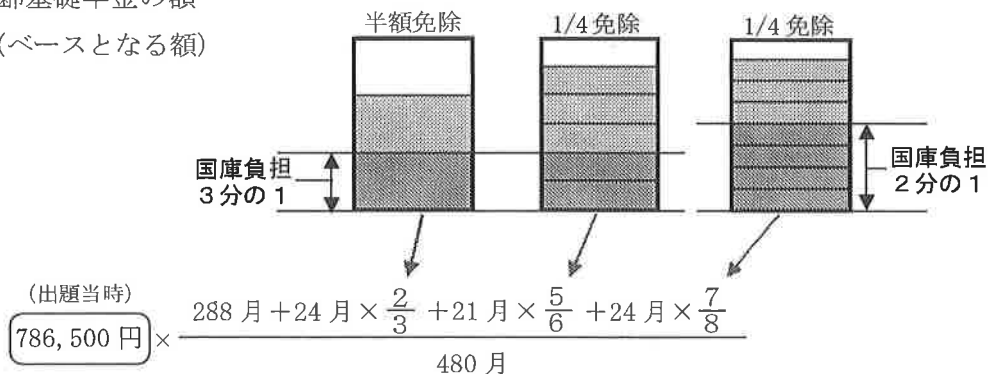


(1)

A さんの ①納付済：(288) 月 ②免除：(69) 月 ③合算対象：(82) 月

(2) 老齢基礎年金の額

(ベースとなる額)



振替加算は？
夫 (S22. 10. 20 生) の厚生年金保険加入実績は 32 年
振替加算額を合計した額が A さんの老齢基礎年金の額となる

○合格を通して得られるもの

この資格取得の学習を通じて得られるのは、「窓口での対応能力」。

場所は年金事務所かもしれませんが、金融機関で働く方であれば職場ということになるかもしれません。

年金の相談に窓口を訪れる方は年金の仕組みがわかりません。

断片的な情報しか持ってこない相談者からの的確に必要な情報を引き出し、適切かつスムーズに必要な情報提供ができる力が身に付きます。

それにより、相談者、(金融機関の方であれば顧客)との信頼関係が高まるでしょう。

これが、資格取得に係るメリットと言えます。